

一般質問



久枝 議員

○市道不老山公園線並びに付近崩壊及び農道西庄線復旧について

質 市道区域の道路復旧を市が行い、市道上部と下部の斜面対策は県が行うとのこと。市道不老山公園線の工事着手と工事完了の予定は。

建設課長 県が行う地滑り対策事業の進捗に合わせる必要があるため、現時点で土砂撤去工事の発注ができない状況です。市の災害復旧事業の最終完了は令和3年度以降になると考えています。

質 完了の予定が令和3年以降ですが、県からの補助とは。

建設課長 市道は公共土木施設災害復旧事業で国から補助を受けています。県からは技術的な支援を受けています。

質 志佐町の農道西庄線の現状と工事着手はいつか。

農林課長 測量、地質等調査ボーリング、地質の解析、設計業務等を発注しました。今後、ある程度の想定で設計を行いますので、地滑りの規模、位置、水位の状況等で動きがどのようにあるかを確認してから、工事の発注を行います。

質 国庫補助は何割か。

農林課長 暫定的な補助率としては、

農業用施設として65%です。

○県下一周駅伝補助金減額について

質 関東から選手は通常6、8名の参加があります。飛行機代は出るが途中の旅費がでない。試合当日、スタッフの旅費代は出るが高速料金は

自前、小学生参加には本来体調を考えて旅館泊まりが最適であるが経費を考えて保護者による当日の送迎である。各種補助金並びに寄附金があるがきちんと計上するならば約69万6千円の赤字である。新年度の補助金の予定は。

教育長 来年度の補助金については、今後の予算編成や議会の審議によって決定されますが、市民の皆様も選手活躍を期待されていますし、関係者の皆様も様々な努力をされていますので、できる限り支援を行っていきたくと考えています。

質 教育長の答弁はファジーであるので、市長の明確な答弁を。

市長 県下一周駅伝は、小学生から壮年まで様々な年代の皆さんが一つのチームとしてまとまり、郷土の代表として誇りを胸に頑張っておられます。また、市民の皆様にとっても活力のもととなる素晴らしい大会であることは十分認識しています。市としてもできる限りの支援措置をしたいと思いますが、来年度の予算編成については、厳しさを増している状況の中で全体のバランスを考慮して適切に対応したいと考えます。

一般質問



立 議員

○人口増進施策の現状について

質 人口増は喫緊の課題である。あと何十年後に来るであろう現実ではないかと懸念される。多岐にわたり施策を講じているであろうが、現状は猶予できない人口減少が今も進んでいる。この人口減少課題は行政だけで解決できることではない。そこに住む多くの市民が知恵を出し、他の自治体が驚くほど注目すべき施策を講じることによって、他自治体からの移住者の増加を図ること、また子育てが他自治体からして比較にならない対応がなされるなどの諸施策が重要であると考えられるが、現状と今後について伺いたい。

政策企画課長 本市の将来的な人口に関する目標、指針については、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンに示しています。この人口ビジョンにおいて、2040年に人口約1万8000人を確保することを目標といたしております。これは、国立社会保障・人口問題研究所の最新の人口推計を上回るものです。この目標を達成するために、総合戦略において、仕事人を呼び、人が仕事を呼び込むという好循環を

確立することで松浦へ新たな人の流れを生み出すこと、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出す。この好循環を確立されることを基本として、仕事、人、まちの創生に関する各施策を実施しています。

○河川地・山間地災害危険マップ現況について

質 市内における河川地域及び山間地域の災害危険箇所のハザードマップ活用がどのようになっているのか、特に地滑り箇所等の疑いがある地域や急傾斜が厳しく崩落の恐れがある地域への対応について、どうなっているのか。また、高齢者の方でも特に耳が遠い人、目が弱い人、足が弱く歩くことが難しい方、一人住まいの方への周知方法をどうしているのか、避難地移送道路等について伺いたい。

市長 現在、ハザードマップを新たに作成しておりますし、県においても土砂災害に関する危険区域の指定がされています。これらの情報を市民の皆様にお知らせし、安全・安心の確保のために活用していただくことが大切だと思っています。市内の自主防災組織の組織率を高め、ハザードマップや危険災害地の指定をお示しし、地域の危険リスクをしっかりと地域の方々に周知して、どのように備えていくかを考えていただきたいと思っています。